中川だより

名古屋市立中川小学校
２月号
令和６年２月１日
https://www.nagoya-c.ed.jp/school/nakagawa-e/

笑顔いっぱい　夢いっぱい　仲間とともに　輝く明日へ！

「暦の上では春！」

中川小学校長　武 藤　敦

今年度もあと2ヶ月となりました。

本校の教育活動へのご理解とご協力ありがとうございます。

２月３日は「節分」です。２月４日は「立春」です。季節の分かれ目は年に4回あるのに、なぜ冬から春になるときだけが「節分」というのでしょう。

それは寒さを我慢していた冬から、命が始まる春が来るということからです。冬眠していた動物たちは目を覚まし、卵で冬を越した生き物は、卵からかえり、草や木も新しい芽が伸びてきます。そして私たちも進学したり、進級したり春は新しいスタートとなります。だから節分が大事にされたのです。

豆をまくのは、病気や災害を鬼に例えて、「鬼は外」と声をあげて、病気や災害が起きないように追い払い、福を呼び込むための風習です。自分の心の中に追い出してしまいたい鬼がいるなら、追い出してしまいましょう。「鬼は外」は、自分の心を新しくして「けじめ」をつけるための掛け声です。

「けじめ」とは、心のスイッチの切り替えのことです。「今は何をするときか」が分かって行動できる人は、「けじめのある人」です。

授業中は一生懸命勉強する。遊ぶときは一生懸命遊ぶ。話を聞くときは一生懸命聞く。けじめがついていると、時間を大切に使うことができ、たくさんのことが自分の力となります。逆にけじめがついてないと、だらしなくなってしまいます。けじめのつかない弱い心の人は、その弱い心という鬼を、節分の豆と一緒に追い出して欲しいと思います。

読書ってすばらしい　本から学ぼう

休み時間になると、教室やワークスペース、図書室などで本を読む中川っ子の姿を見ることができます。読書をすると「知識量が増える」「判断力が身に付く」「想像力が向上する」「語彙力が増す」「コミュニケーション能力が向上する」など、たくさんのメリットがあると言われています。子どもたちには、小学生のうちから、本に慣れ親しみ、さまざまな能力を伸ばしてほしいと思います。また、自分が出会って素敵な本を友達に紹介し合える仲間をどんどん増やしていってもらいたいです。そんな願いを込めて…

- 図書室に、図書委員のおすすめの本を紹介するブースがあります。
- 学校司書の先生も本についての相談をすることができます。
- 12月には、港区図書館の方を招いて、各学年でブックトークを開催しました。
- 1階のワークスペースには、1年生が、友達に本を紹介し合えるコーナーが作られています。

今後も、子どもたちと本との距離が近付く取組を取り入れていきたいと思います。

動物の本紹介コーナー
（1年生）

図書委員の本紹介ブース

ＳＮＳと上手な付き合い方

モバイル社研究所の調べによると、小学生高学年のスマホ保有率は、37%（2023年11月）だそうです。また保有していなくても、ゲームやタブレットを通して、多くの子どもたちが日常的にSNS（ソーシャルネット・ネットワーキング・サービス）を利用しています。SNSは、とても便利で生活を豊かなものにしてくれます。しかし、一方で使い方を間違うと、とても危険です。小学生がSNSによって、金銭トラブルに巻き込まれたり、性的被害に遭ってしまったりするという悲しい事件がとても増えています。中川っ子がそういった悲しい思いをしないように、学校でも情報モラルついての指導はしておりますが、スマホやタブレットなどSNS利用に関する家庭のルールを改めて話し合っていただきたいと思います。

参 考 書 籍

【12歳までに身につけたいネット・スマホルールの超きほん（朝日新聞出版）】